



集団の絆の中で育む、かけがえのない 2 学期に

校長 海老沼 寛之

厳しい夏の暑さの中にも、朝夕の風にほんのりと秋の気配が感じられるようになってまいりました。本日より長い夏休みが明け、校舎に子供たちの元気な明るい声と弾けるような笑顔が戻ってまいりました。手にたくさんの思い出と成長をたずさえて元気に登校してきた子供たちの姿を目にし、教職員一同、いよいよ始まる新しい季節への期待と責任感を新たにしているところです。

さて、この長い夏休みの間、私自身、地域や集団がもつ「絆」の素晴らしさ、そして人と人とが関わり合うことの尊さを深く実感する出来事がいくつもありました。

第 1 に、8 月 21 日に開催された、仲町五丁目会主催の「盆踊り大会」です（残念ながら二日目の 22 日は雨天のため中止となってしまいました）。

今年度の開進第一小学校は、校舎の長寿命化工事に伴い校庭に仮設校舎が建設されており、使える校庭の広さが通常の 4 分の 1 ほどという非常に限られた空間となっております。「これでは今年の開催は難しいのではないか……」と、一時は誰もが心配や諦めの気持ちを抱いたことと思います。しかし、町会の方々の情熱と御尽力は、そうした困難を超えていきました。「楽しみに待っている子供たちのために、そして地域の方々のために、夏の風物詩である盆踊り大会をどうしても届けたい」—そんな温かく熱い思いのもと、綿密な計画と準備が進められ、当日は見事に盛大に開催されたのです。



提灯の明かりに照らされた校庭で、踊り、かき氷や焼きそばを食べ、友達やおうちの方と笑い合う子供たちの表情は夏を満喫するよい表情でした。地域の皆様が注いでくださった愛情と熱意は、子供たちの心の中に忘れられない今年の夏の思い出の「素晴らしい 1 ページ」として、いつまでも鮮やかに刻まれていくことでしょう。厳しい制約の中でも子供たちのためにと立ち上がってくださった関係者の皆様、地域の全ての皆様に、深く深く感謝申し上げます。

第 2 に、私自身の個人的な出来事になりますが、8 月 15 日に参加してきた小学校時代の同窓会です。

地元の栃木県の同窓会会場に集まったのは、今から 36 年前、私が 6 年生だった頃のクラスメイトと、当時温かく御指導をくださった担任の先生でした。30 年以上という長い年月が流れていたにもかかわらず、顔を合わせた瞬間、一瞬にして時が巻き戻り、あの小さな教室でともに笑い、学び、汗を流した日々のエピソードが次々と蘇ってまいりました。どれほど時間が経とうとも、また久しぶりの再会であろうとも、幼少期に同じ教室で時間を共有した仲間というものは、人生において代わりのきかない「かけがえのない存在」

であると、胸が熱くなる思いで強く実感いたしました。

この経験を通して、私は本校の子供たちの顔を思い浮かべました。今、同じ教室で隣に座り、同じ学年で共に過ごしている友達や仲間たちは、これから先、クラス替えがあり、やがて小学校を卒業してそれぞれの進路へと歩いていったとしても、ずっと互いを支え合う「生涯の大切な仲間」であり続けるはずです。だからこそ、子供たちには、今この瞬間、同じ空間で友達と笑い合い、時には意見をぶつけ合いながら過ごしている一分一秒を、どうか大切にしてほしいです。

第3に、この夏に訪れた甲子園での高校野球観戦です。

野球というスポーツにそれこそ青春と人生の全てをかけて打ち込む高校球児たち。彼らの一球一打、一つ一つのプレーに込められた執念と情熱には、観客席にいる誰もが胸を打たれました。さらに感動的だったのは、グラウンドで戦う選手たちを支える学校関係者、吹奏楽部、OB、そして地域の方々が一体となった熱のこもった大応援です。球場全体が一つになるあの圧倒的な一体感は、まさに人間の絆がつくり出す美しい光景でした。



これは、6月から夏休みの最初にまで行われたサッカーワールドカップでも同様でした。ス

ペインや智弁和歌山高校のように、一度も負けることなく頂点に立ち、称賛を浴びたチームの素晴らしさは言うまでもありません。しかしそれ以上に私の心を捉えたのは、夢途中で敗れてしまったチームの姿でした。一人ではなく、チームという集団で一つの大きな目標に向かって勝利を目指す取組。負けて涙を流しながらも、互いの健闘を称え合い、支え合い、肩を抱き合う選手たちの姿に、スポーツの真の価値を見た気がいたしました。

「一人で目標に向かうのではなく、集団の中で一つの目標を共有し、励まし合い、時には涙を流しながら突き進むこと」

これこそが、まさに子供たちが学校という集団の中で学び、関わり合い、活動することの本質であり、学校に通う大きな価値そのものであります。

いよいよ始まる2学期には、運動会をはじめ、生活科見学（1・2年）、連合音楽会（5年）、社会科見学（4年）、そして岩井移動教室（5年）など、子供たちが集団として大きく成長する機会となる学校行事が目白押しです。どの学級・学年においても、子供たち一人一人が互いの個性を認め合い、互いの良さを生かし合いながら、集団の中で高め合ってほしいです。そして、一つ一つの行事や日々の授業を通じ、仲間と団結することの喜びや達成感を味わえると、より仲や絆も深まっていくことでしょう。

充実した2学期となるよう、私たち教職員もまた一丸となり、互いに協力し、支え合いながら、子供たちの笑顔と成長のために全力を尽くしてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、今学期も本校の教育活動への御理解と御協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。